

神戸大学医学部附属病院

循環器内科

指導担当医（役職）

福田 旭伸（特定助教）

実習概要

概要

循環器内科の主治医団の一員として4週間過ごします。オーダー（投薬）は行いませんが、それ以外はほぼ初期研修医と同様に行動します。学生1人当たり患者さんを2～3人担当し、主治医団の回診やICに参加し、検査に同行し、治療計画を立案します。チャートカンファレンスでは研修医とともに口頭での症例プレゼンをします。

医療面接

毎日、午前中に1回は必ず担当患者を訪室し、医療面接と身体診察を行います。

身体診察

担当患者を毎日診察します。特に、心音・肺音聴診、頸静脈怒張や下腿浮腫の有無、血管病変の触診などはエキスパートになれるように指導します。それ以外の内科的診察手技に関しても、一通りできるようにトレーニングを行います。

シミュレーションセンターのシミュレーター（心音聴診イチロー、心エコー、心臓カテーテルシミュレーター）も用いて指導します。

カルテ記載

毎日、学生カルテに記載を行います。指導医が記載内容をチェックし指導します。

症例プレゼンテーション

毎週木曜日朝のチャートカンファレンスで研修医とともに口頭で担当患者のプレゼンを行います。

その他（特色など）

循環器救急を経験したい希望者には患者さんが来院した時にPHSで連絡します。

さらに、心電図や心エコー、カテーテルの勉強がしたいなどの個人の希望に応じます。

学生へのメッセージ

臨床実習1では理解の難しかった循環動態や病態に迫った臨床を経験しましょう。最近の薬物治療も実際に患者さんを担当すると良く理解できます。4週間、しっかりと内科の基礎を学び、今後の糧としてください。